

令和5年度東京都 MICE 連携推進協議会（第2回）開催概要

日 時 令和6年3月5日 15時30分から17時30分

場 所 ビジョンセンター西新宿707及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和5年度東京都 MICE 連携推進協議会 委員17名（代理出席含む）

協議内容

- ・観光庁からの報告
- ・各部会からの報告（サステナビリティ・魅力発信・拠点・次世代型 MICE の4部会）
- ・東京都からの報告
- ・各委員からの報告

開催概要

第2回の協議会では、観光庁から来年度の MICE 予算・施策等の概要についてご説明をいただきました。今年度開催された各部会からの報告に続き、東京都から来年度の MICE 予算・施策等の概要について、また各委員からは来年度の取組についてご報告をいただきました。

委員からの主な意見（要旨）

●各部長より

○サステナビリティ部会：MICE 業界がサステナビリティ対応を更に進めていくためには、主催者の理解や業界全体で同じ目標に向かって進むことが必要。議論の軸を環境だけではなく、ダイバーシティ&インクルージョンの部分に置くことも重要。

○魅力発信部会：オートメーションツール等でデータベースを管理し、誰が何に興味があるのかということ把握した上でマーケティング活動を行うことが重要。公の機関が発信する情報は見られない傾向にある為、自らの発信だけでなく他者による発信で東京の魅力を語ってもらうことも1つの手段である。

○拠点部会：MICE 開催時に、エリア内の企業及び就業者をいかにイベントに結び付けられるかが課題。住民の方々が、自然に MICE に関わることが出来る環境を整えていくことも重要。

○次世代型 MICE 部会：テクノロジーの浸透には、先端技術の実装により MICE における活用実績を積み重ねていくことが重要。オンライン会議や多言語同時翻訳ツールは既に実装が進んでいるが、今後の MICE 開催における重要な要素として AI の活用が挙げられる。

●各委員より

○人材不足、サステナビリティ、統計の整備、国際化は MICE 関連業界の価値を向上させるための課題であり、重要なポイントである。

○若手の育成含め、MICE 関連業界における横軸連携を深めていくことが非常に大切。

○海外からの問い合わせに対応するために、ステークホルダー間で意識を合わせるための勉強会や相互見学会等をもっと活発化していく必要がある。

○MICE 業界は一般観光と比較して知名度も低く、分かりにくいいため、MICE 業界で働くことの魅力や楽しさを、第一線で活躍する会員とのコミュニケーションや MICE 業界を目指すイベント体験等で学生等を感じ取ってもらうことが重要。

以上